

外壁窯業系サイディング仕様

工程	材料	稀釈割合	所要量	塗回数	乾燥時間		
					工程内	工程間	
下地調整	下地に付着している塵、汚れ、油脂類等は完全に除去して下さい。 また、現状塗膜の脆弱な部分または浮きや剥離部分は充分除去し、必要に応じて下地補修を行って下さい。						
上塗り	ダイヤナチュラルシリコンType2 ダイヤシンナー-N	A液(基剤) B液(硬化剤) スプレー 刷毛・ローラー	12kg 2kg 1~2% 0~1%	0.25~0.35kg/㎡ 40~56㎡/セット	2	3時間以上 7日以内	—

※ 既存塗膜の劣化や、下地の吸い込みが著しい場合は下塗材(ダイヤガンコシーラーマイルド)を使用して下さい。

外壁塗装面仕様(微弾性フィラー)

下地調整		下地に付着している塵、汚れ、油脂類及びレタダンス、エフロ等は完全に除去して下さい。 また、現状塗膜の脆弱な部分または浮きや剥離部分は充分除去し、必要に応じて下地補修を行って下さい。						
1	下塗り	ダイヤアクリレスフィラー 清水	中毛ローラー	16kg 1.0~1.3%	0.6~1.0kg/㎡ 16~26㎡/缶	2*	5時間以上	16時間以上
	下塗り	ダイヤアクリレスフィラー 清水	多孔質ローラー	16kg 0.5~0.8%	0.8~1.0kg/㎡ 16~20㎡/缶	1	—	16時間以上
2	上塗り	ダイヤナチュラルシリコンType2 ダイヤシンナー-N	A液(基剤) B液(硬化剤) スプレー 刷毛・ローラー	12kg 2kg 1~2% 0~1%	0.25~0.35kg/㎡ 46~56㎡/セット	2	3時間以上 7日以内	—

※ 下塗りのスプレーの仕様も可能です。別途仕様書をご確認下さい。
※ ダイヤアクリレスフィラーを中毛ローラーで施工する場合、既存塗膜の劣化状態によっては、浸透した弱溶剤による膨潤等の不具合が発生することが考えられます。多孔質ローラーでの施工をおすすめしますが、中毛ローラーで施工される場合は2回塗(*)などの措置を講じ、0.6kg/㎡以上の塗布量を確保するようにして下さい。
※ 既存塗膜の劣化が著しい場合やセメント系下地の場合は、工程1の前にダイヤガンコシーラーマイルドまたはダイヤワイドシーラーを塗布して下さい。
※ フッ素エナメルおよびアクリルシリコンエナメル面の改修についてはご相談下さい。

鉄部・金属屋根仕様

下地調整		錆、及び劣化した既存塗膜は、電動工具・手工具を用いて除去し、SSPC SP-3 (ISO St3・2種ケレン) まで除錆して下さい。 素地に付着しているゴミ、汚れ、油脂類、粉類等は完全に除去して下さい。						
1	下塗り	ダイヤビスイェゴサビ#200A	A液(基剤) B液(硬化剤)	14.4kg 1.6kg 0~2%	約0.16kg/㎡ 100㎡/セット	1	—	4時間以上 7日以内
		ダイヤシンナー-N						
2	上塗り	ダイヤナチュラルシリコンType2 ダイヤシンナー-N	A液(基剤) B液(硬化剤) スプレー 刷毛・ローラー	12kg 2kg 1~2% 0~1%	0.25~0.35kg/㎡ 40~56㎡/セット	2	3時間以上 7日以内	—

※ SSPC … Steel Structures Painting Council (アメリカ鉄鋼構造物塗装審議会) ISO … International Standard (ISO 8501-1:1998)

窯業セメント系屋根仕様

下地調整		ゴミ、ほこり、カビ、藻等は、きちんと除去して下さい。洗浄は高圧水洗浄ができない場合は、水を流しながらデッキブラシ等で清掃して下さい。 洗浄後は充分に乾燥させて下さい。 旧塗膜が劣化して、浮いたり、割れたり、膨れたりしている場合はきちんと除去して下さい。溝の部分、重ね箇所など入念に清掃して下さい。						
1	下塗り	ダイヤガンコシーラーマイルド	A液(基剤) B液(硬化剤)	14kg 1kg	0.1~0.3kg/㎡ 50~150㎡/セット	1~2	2時間以上 3日以内	2時間以上 3日以内
		ダイヤナチュラルシリコンType2	A液(基剤) B液(硬化剤)	12kg 2kg	0.25~0.35kg/㎡ 40~56㎡/セット			
2	上塗り	ダイヤシンナー-N	スプレー 刷毛・ローラー	1~2% 0~1%		2	3時間以上 7日以内	—

※ 厚形スレート瓦、コンクリート瓦、アスファルトシングル及び金属系屋根瓦の改修には適用できません。 ※ フッ素エナメルおよびアクリルシリコンエナメル面の改修についてはご相談下さい。
※ 窯業セメント系屋根の水切り部でコンクリール、カラーベストの上下の重なり部分が塗料でつまっている場合は必ず皮スキ・カッターなどを用いて縁切を行って下さい。

- 間隔時間は、温度23℃、湿度50%の場合です。冬期、夏期では、温度、湿度によって間隔時間にかなりの差異がありますので注意して下さい。
- 所要量は、下地の形状・状態により変動します。 ● ダイヤナチュラルシリコンType2調合後の可使用時間は5時間 です。

施工・保管上の注意点

【塗装面の調整(新設)】
①素地に付着している塵、汚れ、油脂類、レタダンス等を完全に除去して下さい。
②セメント質下地は、表面の含水率10%以下(pH10以下)になるまで放置して下さい。下地モルタルは十分に乾燥させて下さい。モルタルの乾固期間は、夏期で1週間、冬期で2週間以上必要です。コンクリート下地は、夏期で2週間、冬期で3週間以上乾燥が必要となります。
③雨上がり後は、均一に乾いてから施工して下さい。
④PCF(牛乳、現場打ちコンクリート)の場合
1)豆板、木コン、破損箇所、不陸などは、セメントフィラー、セメント系#2000、セメント系#2500、リマラー#70等の下地調整材を使用し、補修して平滑にして下さい。
2)表面が緻密でレタダンス層がある場合は、レタダンスを除去し、ダイヤガンコシーラー又は、ダイヤシーラーエボをご使用下さい。
⑤ぬれや油の場合
1)ケレン剤を塗布して下さい。

【塗装面の調整(新設・改修共通)】
①屋上防水、目地排水管など水の浸透が予想される箇所については、事前に十分点検し適切な処置をして下さい。
②使用シーリング材の種類により塗膜のひび割れ、剥離、ブリード等の異常を生じる場合があります。あらかじめ塗装仕様を確認して下さい。

【塗装面の調整(改修)】
①各現場の改修工事仕様にに基づき劣化部分の補修や既存塗膜の処理(ケレン、清掃、高圧水洗浄)を行って下さい。
②塗膜層が厚い場合には、取り除いてから施工して下さい。
③ジョーキングは、サンダー、ワイヤブラシ等でケレン後、高圧洗浄で除去して下さい。

【材料の保管・管理】
①梱包の材料は、直射日光や雨露を避けて保管して下さい。
②材料の保管は凍結や温度上昇による変質を避けるため、気温5~35℃で、密封のまま直射日光を避け、屋内に貯蔵して下さい。長時間貯蔵したものは十分攪拌し、変質の有無を確認して下さい。
③下部の漏れは危険物ですので、火気や換気十分注意して下さい。

ダイヤナチュラルシリコンType2、ダイヤシンナー-N、ダイヤビスイェゴサビ#200A、ガンコシーラーマイルド
【施工】
①気温5℃以下、降雨、降雪、強風下および湿度85%以上の場合、または予想される場合には施工を避けて下さい。また作業後、降雨、降雪の恐れがある時は雨(雪)養生をして下さい。
②材料は使用前に十分攪拌し、均一にしてから使用して下さい。配合割合を誤りませんと、組織不密や本来の塗膜性能が発現できませんので注意して下さい。
③材料は付着乾燥しますと取れませんが、完全に養生をして下さい。塗付面周辺の養生を完全に行ない、施工時建物の周辺に飛散ないように注意して下さい。また、塗付

後は、速やかに養生紙や養生テープを取り除き清掃して下さい。乾燥後、養生テープを取り除く場合はカッターを入れて下さい。そのまま取り除きますと斑が残ったりとなります。
④乾燥時間は、温度、湿度、および、風等により差異が生じます。
⑤コンプレッサーを使用する場合は必要十分な能力以上のものをご使用下さい。
⑥下地は十分に乾燥してから施工して下さい。乾燥不十分の場合、色ムラ、剥離等の生じる原因となります。
⑦施工にあたっては、同一方法で、入り隅、出隅等見切り角のぬいところまで仕上げてください。同一塗層途中での塗り継ぎは色違いやムラの原因となります。
⑧施工後24時間以内に降雨、結露等があった場合、水分の影響で白化や色ムラが発生し、壁面に残る場合があります。
⑨本施工に入る前に試験塗りをし、施工のタイミング、粘度、塗布量などをチェックし、仕上がりムラにならないよう確認して下さい。
⑩希釈する場合、希釈量を厳守して下さい。薄過ぎるときれいに仕上らないことがあります。特に濃色や下地のぬい込みがない場合等は少なめに希釈して下さい。
⑪常に結露が発生する地域・時期での施工は避けて下さい。
⑫安全衛生上の注意事項については、容器の表示も合わせてご参照下さい。
⑬一度に厚く塗ると色分けや発泡が生じることがあるため、間隔時間を守り、規定回数以上に分けて塗布して下さい。

⑭塗装下地の差によって、塗布量が変わる場合があります。
⑮フッ素や無機系などの難着塗料が塗られている下地については、付着性が十分に発揮されないおそれがありますので、ご使用の場合は最善の営業所へご相談下さい。
⑯可使用時間及び塗装間隔は厳守して下さい。層間密着性の低下の原因となります。
⑰使用した器具類は直ちに洗浄して下さい。放置しますと硬化して洗浄することが難しくなります。
⑱乾燥時間は、温度、湿度および、風等により差異が生じます。
⑲濃色や原色に近い色の場合、強くすると色が取れる場合があります。
⑳下地の吸込みムラにより色彩のムラが発生する場合があります。
㉑シーラーと上塗りを混合するとゲル化する恐れがありますので、容器・刷毛・ローラーなどの共用は避けて下さい。
㉒上塗材を施工する場合は、下塗り後の乾燥状態を確認して下さい。
㉓既存塗膜の劣化が著しい場合、また既存塗膜がセメント系の場合には高圧水洗浄にダイヤガンコシーラーを塗布して下さい。
㉔施工後、塗膜が乾燥するまでに、降雨などにより水分の影響を受ける状態が継続される場合、低汚染機能が現れないことがあります。乾燥までに降雨や積雪、結露が予想される場合は施工を避けて下さい。
㉕予想外の降雨などが発生した場合は、シート養生などを行い塗膜面が濡れないよう対策をして下さい。
㉖施工部位により、低汚染性が十分に発揮されないケースがあります。濡れりでない部位や斜壁、水切りが不十分な面や窓まわり及びその下側面などは、低汚染機能が現

れないことがあります。
㉗シーリングなどに含まれる可塑剤、煤塵や油類、サビなどが原因の汚染物質に対しては、低汚染機能が十分に発揮されません。
㉘上塗塗布量を厳守し均一に施工して下さい。塗布量が少ない場合は低汚染機能が十分に発揮されません。
㉙塗布面のぬい込みが大きい場合は、下塗などによりぬい込みを少なくし、上塗が塗布面にぬい込まれないようにして下さい。表面に上塗材が十分に確保されないいと耐汚染性、低汚染機能が発揮されません。
㉚A液とB液は指定の割合で混合し、電動攪拌機を用い十分に混合(2分以上)して下さい。
㉛A液とB液の混合比率が不適切であったり、B液を調整していない場合は、低汚染機能が現れません。
㉜A液とB液を使用する場合も、上塗のA液、B液の缶を良く振り、注液分離していないものを指定の割合で計量混合し、電動攪拌機を用い同様に混合し使用して下さい。
㉝A液とB液の混合後は可使用時間以内に使用して下さい。可使用時間を超過して使用した場合、作業性や仕上り、汚染機能が現れない場合があります。

【安全衛生上の注意】
①取扱いは、できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防護マスク、保護メガネ、保護手袋を着用して下さい。
②取扱い後は、手洗い及びうがいをして十分に行って下さい。
③子供の手の届かない所に保管して下さい。
④作業中・作業後は十分換気を行って下さい。
⑤廃塗材、廃容器、洗浄水等は、産業廃棄物処理業者に委託して処理して下さい。
⑥目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
⑦顔て飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
⑧中身を使い切った後から廃棄して下さい。
⑨皮膚に付着した場合には、直ちに石鹸と多量の水で洗い落とし、痛み又は外観に変化があるときには医師の診断を受けて下さい。
⑩臭い、蒸気等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。

【その他】
その他、詳しくは最善の各営業所へお問い合わせ下さい。
施工に際し、施工・管理上の詳細な注意事項については仕様書等をご確認下さい。
施工に際し、安全衛生上の詳細な注意事項については安全データシート(SDS)をご確認下さい。

DIA 永く美しく守る

ダイヤ ナチュラルシリコン Type2



製品・工法に関するお問い合わせはホームページのブランドサイト <https://www.dia-dyflex.jp/> にてご確認のうえ各地域のオフィスまでお願い申し上げます。

2023年4月1日よりシーカグループの株式会社ダイフレックスは日本シーカ株式会社に統合され、新たに **シーカ・ジャパン株式会社** としてスタートいたしました。

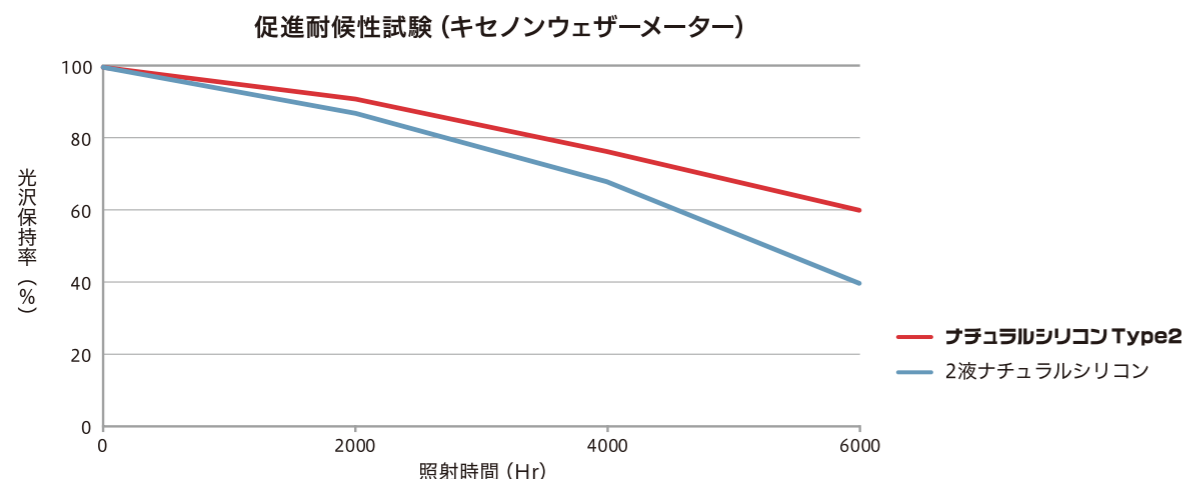
(*23.7月現在)23.07.300 SJ

ダイヤナチュラルシリコン Type2

耐候性を高めるラジカルコントロール技術によってシリコン樹脂塗料のグレードを大きく高めました。

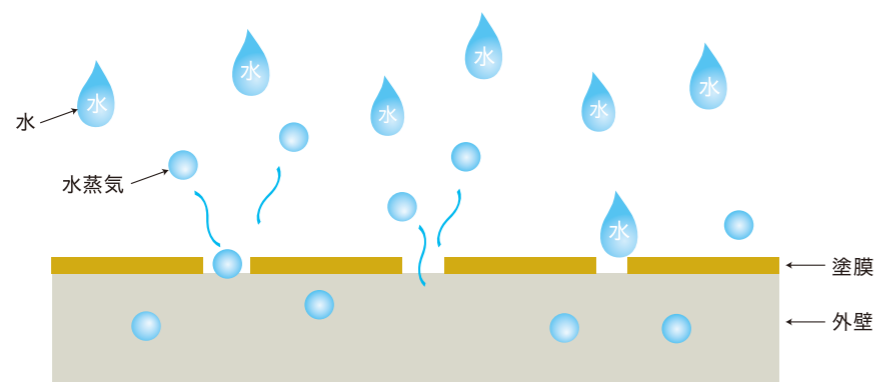
高耐候性

紫外線や風雨に強いシロキサン結合をもつ強靱な塗膜性能に加え、塗膜の劣化を促進させるラジカルの発生源にバリアーを張ってラジカル発生数(量)を抑制するとともに、発生したラジカルを吸着不活性化する成分を配合して塗膜を長く保護します。



透湿性

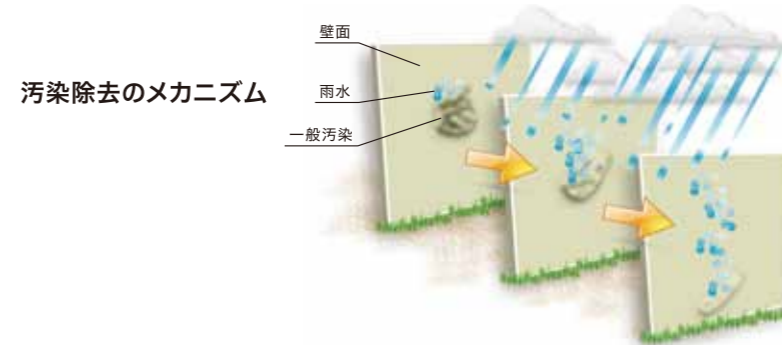
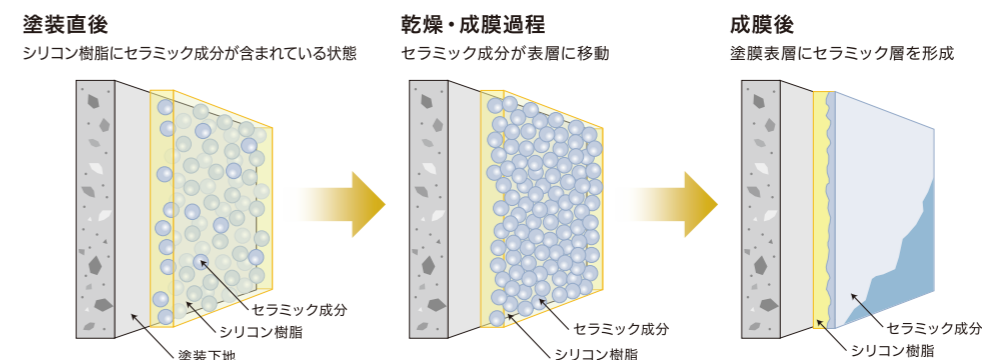
乾燥後の塗膜は、水蒸気は通しますが水分は通しません。自然の調湿機能を有し、建物にもやさしい塗料です。



低汚染性

塗料に配合されたセラミック成分Si-Oが空気中の水分を吸着し、塗膜表層を常に薄い水の膜で覆っている状態を発現します。親水状態の塗膜に付着した汚れは雨と一緒に洗い流されて壁の美観を守ります。

セラミックハイブリッド塗料の塗膜構成



安全性

外壁面のカビを抑制するとともにカビによる劣化を防ぎます。また、鉛を使用しておらず、環境にやさしく安全性にもすぐれています。